

EXHIBITION
『世界報道写真展2018』
 記録された瞬間 記憶される永遠

チケットを
5組10名様に
プレゼント
▼
詳細はp.38へ

累計約400万人が訪れた世界最大級の写真展が今年も開催される。本展は2017年に世界各地で撮影されたドキュメンタリー・報道写真を対象としたコンテストで、1年をかけて世界中の会場を巡回する。61回目を迎える今回は125の国と地域から7万点以上の応募があり、42人の作品が入賞した。大賞に選ばれたのは、ロナルド・シュミットの「ベネズエラ危機」。首都カラカスでニコラス・マドゥロ大統領への抗議デモに参加した若者が、機動隊との衝突により炎に包まれた瞬間をとらえた。コンテストは「現代社会の問題」「人々」「スポーツ」「環境」など全8部門。現実を克明にとらえた作品から、世界の今が見えてくる。

会場:東京都写真美術館(東京都目黒区)
 会期:6月9日(土)~8月5日(日)月曜休館、ただし7月16日開館、翌17日休館
 TEL:03-3280-0099 <http://www.asahi.com/event/wpph/>
 *そのほかに大阪、大分、京都、滋賀を巡回予定



世界報道写真大賞
 「スポットニュースの部 単写真」
 ロナルド・シュミット
 (ベネズエラ、AFP通信、2017年5月3日)

MOVIE
『アイ・アム・タレント』

スケートボードに導かれた、ストリートチルドレンの闘い

タレント・ビエラが南アフリカ・ダーバンの路上で生活するようになったのは9歳の頃。暴力的な養父から逃れるためだった。まともな教育を受けていない彼は、18歳になっても読み書きすらできない。路上生活から抜け出せる見込みは到底なかった。そんな彼にとって、8歳のときに出会ったスケートボードは自己表現の手段であり、路上で暮らす彼の誇りを保たせてくれる唯一のものだった。ある時、彼の並々ならぬ才能を目にしたアメリカのプロスケーターが援助を申し出る。ただし、自分でアメリカに来ることができるならという条件付きで……。南アフリカの路上からカリフォルニアへ、自身を取り巻く環境から抜け出すための闘いに身を投じた少年の姿を追うドキュメンタリー。



© 2016, Made To Stray Film, llc
 All Rights Reserved.

2016年 / アメリカ / 88分 / 英語
 監督:ナタリー・ジョンズ
 出演:タレント・ビエラ、トニー・ホーク
 ほか
 公開:6月29日(金)より、ヒューマンラ
 ストシネマ渋谷ほかで全国順次公開
<http://www.laidback.co.jp/>

新着情報
イチオシ!

BOOK
『My Room 天井から覗く世界のリアル』
 世界の“違い”を俯瞰する
 渾身のドキュメンタリー

2010年、フランス人写真家のジョン・サクレーは、80~90年代生まれの若者をベッドルームの天井から撮影する「My Room Project」を開始。インターネットなどを通じて世界中から協力者を呼びかけ、その後6年間で世界最貧国と呼ばれる国々から日本を含む先進国まで、55か国、1,200人の部屋を撮影した。プロジェクトは2017年に84人の部屋とインタビューを収録してフランスで書籍化され、本書はその邦訳となる。カメラに向けられた眼差しはみな若者らしい生気に満ちていて、その表情はどこか似ている。しかしそれぞれのページとページの間には、富や秩序やジェンダーの確かな差異が横たわる。世界は広く、そして多様な人生があることに気づかせてくれる“世代の肖像”だ。



ジョン・サクレー 著
 ライツ社
 3,024円(税込)

BOOK
『コーヒー豆を追いかけて』
 1杯のコーヒーに
 グローバルな課題あり

世界で1日に消費されるコーヒーの量は約25億杯。年間生産量は950万トンにのぼり、貿易規模は石油に次いで大きい。そして日本は、アメリカ、ドイツに次ぐ世界第3位のコーヒー輸入国だ。私たちがふだんにげなく親しんでいるコーヒーの背景には、途上国の貧困や熱帯林の伐採など、さまざまな問題が潜んでいるという。コーヒーと熱帯林の関わりを研究している著者は東南アジアの農園に何度も足を運び、そこで働く人々の暮らしや熱帯林を守る人々の取り組みを聞き取ってきた。森が切り開かれ、換金できる作物が植えられる一方で、樹木を植えて森の中でコーヒーを栽培する人々や、農家が公平な取引をできるように活動している人々がいる。実際に現地で見ていることを知り、世界とのつながりを考え直す1冊。



原田一宏 著
 くもん出版
 1,512円(税込)

この本を
1名様にプレゼント
▼
詳細はp.38へ